

平成 29 年 3 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社フォーサイド
代 表 者 名 代表取締役 假屋 勝
(JASDAQ・コード 2330)
問 合 せ 先 常務取締役 飯田 潔
電 話 0 3 - 6 2 6 2 - 1 0 5 6

当社株式の「業績」基準に係る猶予期間からの解除に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 12 月期の営業利益及び営業活動によるキャッシュ・フローがプラスを計上いたしましたことから、「業績」基準に係る上場廃止の猶予期間から解除されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 「業績」基準に係る猶予期間からの解除について

当社は、平成 27 年 12 月期において、平成 27 年 12 月期を含めて営業利益及び営業活動によるキャッシュ・フローが 4 期連続でマイナスとなったことから、有価証券上場規程第 604 条の 2 第 1 項第 2 号に定める上場廃止に係る猶予期間に入っております。

本件につきまして、平成 28 年 12 月期の営業利益及び営業活動によるキャッシュフローがプラスを計上いたしましたので、本日、株式会社東京証券取引所より、「業績」基準に係る猶予期間入り銘柄からの解除について発表がありました。

2. 今後の見通し

当社グループは平成 29 年 12 月期においても以下の施策を実行し、経営基盤の安定と継続的な業績の向上を図ってまいります。

① 新規事業の開拓、新規事業への取り組み

当社は、平成 29 年 3 月 31 日付で、主にアミューズメント施設向け景品制作・販売を行っている株式会社ブレイクの全株式を取得し、100%子会社化することといたしました。これにより、当社グループがこれまで培ってきたコンテンツ事業に、アミューズメント施設向け景品制作・販売のノウハウとリソースを保有する事となります。スマートフォンアプリとリアルとの融合や、当社グループの電子書籍サービス「モビぶっく」で展開している有名なマンガ等のキャラクターのグッズ化など、自社及び他社原版を活用した総合的なコンテンツビジネスモデルを構築してまいります。

② M&A、業務提携の推進

当社グループでは、今後も、既存事業の強化及び相乗効果を勘案したうえでM&Aや業務提携による事業領域の拡大を積極的に行います。

③ グループ体制の強化

当社グループは、創業以来の主力事業である「コンテンツ事業」に加え、「不動産事業」、「投

資銀行事業」「貸金事業」が増加し、それぞれが事業会社として活動しており、従来からのインターネットビジネスの領域を超える企業体制へと進化してまいりました。平成 29 年 12 月期においても、さらなるグループ体制の強化を図ってまいります。

当社連結子会社の株式会社クレディエンスは、平成 29 年 2 月 1 日付で「フォーサイドフィナンシャルサービス株式会社」へ商号を変更いたしました。総合的な金融サービスの提供を目指していく上で、事業内容を明確にするためにも、「フィナンシャル（金融）」を冠した商号に変更し、グローバル市場における同社のブランド力を高めると共に、さらなる業容拡大、企業価値の増大を図って参ります。

また、当社連結子会社のフォーサイドエンタテイメント株式会社は、平成 29 年 2 月 1 日付で「フォーサイドメディア株式会社」へ商号を変更いたしました。「Media（メディア）」を冠した商号に変更することで、今後開拓する世界各国での協業パートナーやユーザーに対して事業内容を明確にし、グローバル市場におけるブランド力を高めると共に、効果的な事業展開を目指してまいります。

さらに、平成 29 年 3 月 31 日付で株式会社ブレイクを子会社化し、これまでの基軸事業であるデジタルコンテンツ領域に加え、リアルコンテンツ市場において、各種マーチャンダイジング事業へのシナジーを活用した業容拡大を図ってまいります。

株主の皆様をはじめ関係者の皆様には多大なご迷惑とご心配をおかけいたしました。当社グループは、今後とも株式会社東京証券取引所 JASDAQ 市場における上場を維持するように、より一層の経営努力を図っていくとともに、適時・適切な情報開示を行ってまいります。

株主、投資家の皆様ならびに関係者の皆様には、今後とも格別のご支援、ご高配を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

以 上